

国際研究集会の御案内

東京大学史料編纂所では、ロシアに所在する日本関係史料の系統的な調査・研究と収集に取り組み、現地の研究機関と協力して国際研究集会や共同研究を行っています。今回はロシア国立海軍文書館長をはじめロシアの旧都サンクトペテルブルクからお二人の研究者を招聘し、日本側からは日露関係史に詳しい麓慎一教授にご参加いただきます。ロシア（海軍）と琉球に関わる史料群や明治初年の日本の対外政策をテーマに、3つの報告をお願いしました。1854年、プチャーチンは那覇を訪れます。限られた史料の中から、ロシア海軍と琉球王国の人々の交流の一端が明らかになることでしょう。多くの方のご参加を呼びかけます。

日露関係史料をめぐる国際研究集会

日時:2014年5月27日(火)、14:00~17:00

会場:東京大学史料編纂所(大会議室)

▼報告1: セルゲイ・チェルニャフスキー館長

(ロシア国立海軍文書館)

「琉球諸島におけるロシア海軍軍人たち」

▼報告2: ワジム・クリモフ上級研究員

(ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所)

「琉球におけるロシア人たち

(1854年2月1日~9日)」

▼報告3: 麓 慎一教授(新潟大学)

「明治政府の対外政策

—樺太・朝鮮・台湾—」



※ 終了後、レセプションを予定。



主催/日本学士院・ 東京大学史料編纂所

連絡先: 科研事務局 03-5841-8411

科学研究費補助金基盤研究(A)「ロシア・中国を中心とする在外日本関係史料の調査・分析と研究資源化の研究」(研究代表者: 保谷徹)

※本集会は日本学士院による日本関係未刊行史料調査事業(国際学士院連合関連事業)の一環として行われます。

史料編纂所大会議室(会場は研究所の向かい側の建物、地下1階です。)